

評 価 書

平成30年2月
宮 城 県

平成29年度に行った公共事業再評価の結果は、以下のとおりである。

記

- 1 対象事業名
地域高規格道路宮城県北高速幹線道路主要地方道築館登米線Ⅳ期（築館工区）道路改良事業
- 2 事業の概要
別紙のとおり
- 3 県民生活及び社会経済に対する効果並びに把握方法
別添1のとおり「事業の進捗状況」、「事業を取り巻く社会経済情勢等の変化」、「代替案との比較」、「コスト縮減」、「費用対効果」の項目で事業効果を把握した。
- 4 評価の経過
平成29年10月30日 行政活動の評価に関する条例第5条の書面（評価調書）の確定
平成29年10月31日 宮城県行政評価委員会への諮問
平成29年10月31日 条例第9条に基づく県民意見聴取
～11月30日
平成29年11月1日 同委員会公共事業評価部会（第1回開催）
平成29年12月22日 同委員会公共事業評価部会（第2回開催）
平成30年1月19日 同委員会及び同委員会公共事業評価部会からの答申
平成30年2月5日 県の最終評価（評価書）の確定

- 5 行政評価委員会の意見
「事業継続」とした県の評価に対し、「妥当」とした。
なお、次のとおり事業の実施に関する意見が付された。

今後の事業の実施に関する意見

事業全般

事業費が増額となる原因の整理、分析を進め、当該データの蓄積を行うとともに、庁内における情報共有を図り、事業費の見積り精度を高めるよう努めること。

- 6 評価の結果

地域高規格道路宮城県北高速幹線道路主要地方道築館登米線Ⅳ期（築館工区）道路改良事業を継続する。

評価の結果の詳細は、別添1のとおり。
なお、事業の実施に関する意見に対しては、以下のとおり対応する。

今後の事業の実施に関する意見

事業全般

事業費増額の原因について、実施工事での設計変更理由を整理、分析し、そのデータを蓄積するとともに、職員研修等により庁内における情報共有を図り、今後の事業計画及び実施に当たっての事業費見積り精度の向上に努める。

事業概要一覧

事業種別	事業名	事業実施箇所	事業採択年度	完成予定年度	事業目的・事業概要	全体事業費(億円)	進捗率(%)
道路	地域高規格道路宮城県北高速幹線道路主要地方道築館登米線Ⅳ期(築館工区)道路改良事業	栗原市	H25	H30	東北縦貫自動車道及び三陸縦貫自動車道とともに、広域交通ネットワークを形成し、沿道の自動車関連産業等の企業立地を支援する道路及び復興支援道路として整備を行うもの。 延長L=1.7km 車道幅員6.5m (全体幅員8.5m)	69.0	74.2